

中学生連載企画 私たちのふるさと 松山学 No.8

小野中学校

古墳時代後期の葬送儀礼を知ることができる 葉佐池古墳

私たちは総合的な学習の時間に郷土の歴史や文化を調べる「小野めぐり」を行い、葉佐池古墳についてまとめました。

葉佐池古墳とは



加藤 公悠さん(1年)

葉佐池古墳は、今から1400年ほど前に築かれました。発掘調査によって、墳丘(古墳の高まりの部分)に



石室の内部



味村 莉緒さん(1年)

第一石室には3人の遺体が眠っていて、右側の遺体が一番新しいといわれています。包帯で巻かれている遺体の胸元には、魔除けのためなのか小刀が置かれています。石室は未盗掘で古墳時代のまま現在まで残っています。

埋葬の様子



長谷部 光祐さん(1年)

木棺などの有機物が良い状態で残っていたため、発掘調査によって埋葬された順番が明らかになっています。最初の人は木の棺に納められましたが、2番目の人のために棺から出されました。そして最後の人は包帯できれいにミイラにされ、空いているところに入れられたと考えられています。

葉佐池古墳 (北梅本町甲2455)

最大約41坪の長円形の古墳で、平成23年、本市では4番目となる国の史跡に指定されました。

施設利用

■公開日=土・日曜日・祝日(年末年始を除く) ▶公開時間=3~10月は9時から17時まで(11月~翌2月は9時から16時30分まで)
※平日の施設見学を希望するには、文化財課へ事前に連絡が必要

☎0948-6891・0931-6248

「モガリ」の儀式



原 さやかさん(1年)

内部では「モガリ」(亡くなった人の死を悲しむ儀式)という行事が行われていました。

ミイラにくっついていたりハエの蛹がヒメクロバエのものであったことから、亡くなってから埋葬までの期間は1週間から十数日と考えられています。死後も遺体を何日か置いておく「モガリ」をしたことにも驚きました。偉い人は何カ月も行っていったそうです。

郷土の史跡・遺跡・自然について、個々が興味を持ったことをもとにグループで実際に探索をしたり、地域の人に直接話を聞いたりする活動です。「調べ学習」などを通して「新聞作り」、「文化祭での劇による発表」を行います。



郷土の遺跡などを学ぶ「小野めぐり」

播磨塚古墳



古墳時代終末期の古墳で、巨石の面をそろえて造られた両袖式の横穴式石室で、玄門を除いて巨石で構成されています。大刀の柄頭や須臾器が副葬されていました。



小倉 あいりさん(1年)

他にも点在する小野地区の古墳

駄場古墳



葉佐池古墳と違って小さく周りが草で覆われています。民家のすぐ裏にあり、中をのぞくとお腹が痛くなるといわれていたため、子どもは近づかなかったそうです。



島崎 南帆さん(1年)

地域の遺産を守りたい



小野めぐりで地域の歴史や文化について自分たちで足を運んで学びました。これからも地域の歴史的遺産を大切に守っていきたいです。

先人と文化の読み物教材

「語り継ぎたいふるさと松山百話 I・II・III」



松山の先人や文化に関する心に響くエピソードをまとめた教材集です。一話が10〜14ページ程度で、気軽に松山ゆかりの先人の足跡や文化に親しむことができ、市立図書館で見ることが出来ます。